

歯医者が自分の家族には
保険のかぶせ物を入れない
本当の理由！

くろさわ歯科クリニック
院長 黒澤 忠

はじめに　この冊子を書いた理由

くろさわ歯科クリニックにいつも来院していただき、ありがとうございます。

今から私がおあなたにお伝えする情報はすべて事実です。わたしが、なぜ今回この文章を書いたのか。それには訳があります。

あなたは **ずっと健康で快適な暮らしをしたい**

そして、あなたの大切な人にも **健康で幸せに暮らして欲しい**

と願っているのではないだろうか？

だからいい。

歯科で使う材料の違いによって、正しい情報を提供しなければならぬ

と私は思います。

これが、歯科医師である私の**義務**だと思います。

第1章 かぶせ物と詰め物の真実

かぶせ物や詰め物をするための下準備が終わると
土台を作って歯を補強します。

その次に形を整えて型をとれば、かぶせ物や詰め物（これらを専門用語では「補綴物（ほてつぶつ）」と言います）が出来てきます。

そこで、情報提供として補綴メニューを作成しました。

なぜ今まで補綴メニューが無かったのか？

私は今まで、**保険のかぶせ物や詰め物でもそれなりに良い物ができると思い**

てしまった。

しかし、現場に出て経験を積み勉強をしていく中でわかってきたことがあります。

保険のかげせ物や詰め物は、決して体に安全なものではない

とシミジミと。

第2章 患者様から学んだこと

それでは、実際にあったことをお伝えしたいと思います。

私が歯科医師になり立ての頃、Aさんという患者さんの歯石を取っていました。

かなり硬い歯石らしき物があり、その歯石を取ったところ、

それはインレーという金属製の詰め物でした。

ビックリして慌てて接着しようとしたのですが、もっと驚いたのは、

その詰め物が**かなり錆びていた**ことでした。

「Aさん、この詰め物の内側、錆びてますね。いつ入れたんでしょうか？」

「うーん、10年くらい前だと思っけど、本当ね。すぐ錆びているわね。外からはわからなかったけど、こんなには錆びているのね。」
先生！ これもう入れるのは止めてください。

どっ見ても体に悪そうだから」

別にはずれかかっていたわけでもないし、入れた状態が悪い訳でもない。
すき間が開いていたわけでもない。

やっぱり口の中はいつも濡れているから、

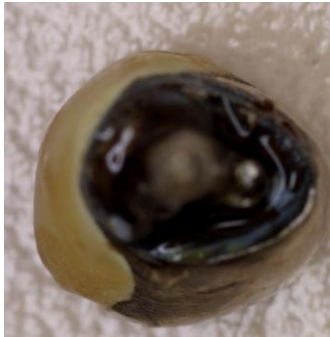
金パラ 健康保険の材料では錆びるんだな」

ということが解ってきました。





取れた詰め物。右が外側の様子、左が内側の様子。内側は黒くなっています。



はずれたかぶせ物。右が横から見た様子、左が内側の様子。やはり、内側は黒くなっていますね。

いじりごとはこの時だけではなく、
今でも「詰め物が取れたんです」と言って持ってきてくださった方の
ほとんどの詰め物の裏側は真っ黒になっています。

第3章 一見見きれいな詰め物。実は裏側は錆びていた！

保険の詰め物やかぶせ物には「金パラ」という金属材料を使用しています。金パラの成分は、金12%、パラジウム20%、銀50%、銅15%、他3%の銀合金でできています。

これは、約40年も前に厚生労働省（以前の厚生省）が決めた比率です。

実はこの数字、体への安全性を考えて作ったものではなかったのです。

当時金属の研究者の団体・歯科理工学会理事の理工学教授に
教えてもらったのですが、

昭和30年頃の金属は金、しかも20カラットの金をかぶせ物に、
詰め物には24金を使っていました。

当時、金は非常に高価で、手に入りにくい物でした。

厚労省は健康保険に使用する純金に代わる

代用歯科用合金の開発を理工学会の理事の教授に命じたのです。

当初金の含有量は20%程度入っていました。

それでも、厚労省はもっと金の含有量を下げようように命じ、

教授はそこまで金含有量を下げてはいけないうつこのを

厚労省は聞かず、 12%の金にしてしまったと聞きました。

開発当時から、金の代用品だったのです。

とうとうとは？

**その当時の国の財政の事を最優先に考えた結果、決めた割合
でしかありませんでした。**

調べてみてわかったのですが、

歯科用の金合金は金、白金、パラジウムなどの貴金属が75%以上
含まれていないと**化学的に安定せずお口の中で溶け出します。**

つまり、**金パラは生物学的に問題があり安全とは言えないのです。**

特にパラジウムと銅は金属アレルギーを起こしやすく、
アメリカ・ヨーロッパでは使われない傾向にあり、

金パラという合金は**アメリカヨーロッパの歯科医院では使用されていませ**

ん。

このように金パラは金合金の安価な代用品として
日本だけで使用される歯科用合金だったので。

あなたにも、ある日突然詰め物が取れて、裏を見ると真っ黒になっていて、

「これって大丈夫なのかな？」

とびっくりされたことがあるかもしれません。

確かに、保険の物を入れても、

ほとんどの場合すぐに病気になるというわけではありません。

しかし、もし歯医者である私が、私の大切な家族にかぶせ物を入れる場合、やはり保険のものは入れません。

口の中で徐々に金属が溶け出し、それを毎日飲んでいる事を考えると…。

ぞろっとして怖くなります。

事実、私の父親・母親・兄弟の治療を今までしてきましたが、誰一人として保険の材料（金バラ）を使ったことはありません。

「セラミック」という素材を使ったのです。

私だけでなく、ほとんどの歯医者さんは、自分の家族には体に良い物を入れます。

第4章 歯医者が自分の家族には保険のかぶせ物を入れない本当の理由

では、なぜ今まで歯医者さんは、

あなたに歯の材料のことを詳しく教えてくれずに、

保険のかぶせや、つめ物を入れていたのでしょうか？

説明するのが面倒くさかったのでしょうか？

材料についてあまり知らなかったのでしょうか？

おそらくそれもあると思いますが、いちばんの理由は

**短い時間で、歯科材料の説明をして、高い物を押しつけられた
と患者さんに誤解されないだろうか**

というところが心配なのです。

誤解されるくらいなら、黙って保険の物を入れておこうと考えるわけですが、わかっているても・・・

セラミックは陶器です。

ですから、**溶け出す**ことは**絶対ありません**。

白い材料で**自分の歯と同じ白さ**を**つくる**ので、

金や金パラとは違い、かぶせてあっても見分けがつかません。
自分の歯と見分けがつかないくらい美しいのです。

最近では、芸能人が急に歯がきれいになっていることに
気づくことがあると思いますが、

あれはすべてセラミックを入れているからです。

もちろん、デメリットもあります。



セラミックは陶材ですので、金パラや金とは違って粘りがありません。

あまり大きな衝撃が加わると割れます。

その点に関しては、耐久力が劣ると言わざるを得ないでしょう。

ただ、壊れることがメリットになる場合もあります。

セラミックが割れてくれるため、

歯が守られ、歯の根が壊れずに抜かれるような心配がなくなることです。

根っこがあれば、再度かぶせ物を作ることができます。

金パラでかぶせると、よく歯が割れて膿んできたりします。

かぶせ物が硬く、噛む力が余りに強すぎるために

歯が耐えきれなくなつて割れてしまった結果、

バイ菌に感染し膿みを出してくるのです。

もうこうなつたら歯を抜くしか方法が残っていません。

私はあなたの大切な歯を失つてほしくないのです。

今ある歯を長く使つて人生を楽しんでいただきたいと
真剣に考えているのです。

最終章 歯にかぶせる最高のものとは？

かぶせ物 詰め物でも何でもよいのは、
歯と同じ硬さ、特徴をもったものが一番です。

歯にできるだけ近い硬さの物が一番歯に優しくて良いものといえますね。

その点から言えば、

見た目の白さ、硬さ、組成でアレルギーと無縁のセラミックが

一番体に優しいと言えるのではなうでしょうか。

また、保険治療の物に比べ、自費治療のものは高額になります。

物によっては、10倍〜20倍の金額になります。

しかし、あなたの一本の歯の価値はいくらぐらいでしょうか？

もちろん自分の健康に対する価値観は人によって違います。

もし、私が

「100万円差し上げますので、あなたの前歯を一本抜かせてください！」

とお願いしたとしたらどうでしょうか？

きょつ

絶対に嫌だ！」

と思われるではないでしょうか。

あなたの健康やあなたの大切な人の健康と比べたとき、数万円のかぶせ物や詰め物が本当に高いのか、安いのかは人によって異なるのです。

だから私は補綴メニューを作りました。

短い説明で誤解される事を恐れるよりも、家に持って帰ってもらってじっくり見ていただく方がよっぽど良いと思ったからです。

あなたもきっと落ち着かない診療室で説明を受けるよりも、**家に帰って落ち着いて、補綴メニューを見ながら一番合うものをゆっくり選んだ方が良いはず**です。



そしてあなたやあなたの大切な人の健康について、
向き合う時間を作っていたら嬉しく思います。

次回のご予約まで少々時間があると思いますので、

その時に、どのかぶせ物や詰め物にするか言っていただけだと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

わからないことや、不安な点、質問などがあれば、

ご遠慮なくご相談くださいね。



—著者プロフィール—

黒澤 忠（くろさわ ただし）
3月26日生まれのおひつじ座
動物占いは、くろひょう。



<趣味>

- ・ガーデニング

—略歴—

1996年
日本歯科大学新潟歯学部 卒業
1996年4月～2006年2月
総合太田病院 歯科にて診療
2006年2月
くろさわ歯科クリニック開業

—所属学会等—

- ・国際歯周内科学研究会
- ・床矯正研究会

『歯の治療に楽しく来るための本』

2010年5月18日 初版発行

<http://www.kurosawa-dc.com/>

くろさわ歯科クリニック（TEL：0120-18-9638）
〒373-0036 太田市由良町71-10

Copyright © Tadashi Kurosawa, 2010- All Rights Reserved.

定価 700円（税別）